

明日から始められるDX実践方法

■研修のねらい・背景

デジタルトランスフォーメーション（DX）の基礎から実践的な進め方までを学びます。DXの本当の意味を概念にとどまらず理解します。そのために、DXで陥りやすい失敗点や成功のポイント、業務のムダを排除する方法、デジタル技術の活用法について詳しく解説します。また、具体的なデジタルツール（AI）などの活用法も紹介し、研修中に実際にみなさまにも体験していただきます。ただ聞くだけの研修ではなく、聞いて知ってさわっていただくことで理解を深めます。

■期待される効果

デジタルトランスフォーメーション（DX）の基礎知識を習得し、業務効率化やムダの排除に関する具体的な方法を学べます。また、DXツールなどの活用法を理解することで、業務改善やデジタル化の推進がスムーズに行えるようになります。難しい概念ではなく、自分たちでも始められるというキッカケづくりになります。

■スライド例

DX「D（デジタル）」とはどういうことか

データは企業の原油
無限大の可能性がある

- 財務情報を利用して人材戦略を立てる
- 出勤勤怠情報を利用してシフト管理戦略を立てる
- 顧客名刺情報を利用して営業戦略を立てる
- 監視カメラ情報を利用して防犯対策を立てる

DXは「アジャイル思考」で小さく始めて大きく育てる。

※「アジャイル(agile)」の名詞形である「アジリティ (agility)」とは「敏捷」や「機敏」という意味

業務のあり方が変わってきた ソフトウェアが業務の根幹になる

ソフトウェアが業務の根幹を担うようになり
非定型(マニュアル化できない)な仕事が増えている

非定型な仕事 → 私たちの仕事 → IT化

定型な仕事

ITソリューションありきでDX(業務変革)や業務改善を考える

```
graph TD; A[どこが問題なのか理解できていない] --> B[ひとまずデジタル化したら解決するだろう]; B --> C[成果がでない]; D[オフィスワークは目に見えない] --> E[導入したことで満足]; F[DX化した気になる...];
```

価値あるデータを準備する

散らばっている情報を集めよう！

情報の集約・処理のデジタル化

アナログ処理をデジタル化しよう！

■セミナープログラム（例）

1. dX デジタル変革
 - ・DXで大切なこと
 - ・DXのキホン
 - ・DXの取り組み3つ
 - ・DX”D（デジタル）”とはどういうことか
2. DXがうまくいかない理由（ワケ）
 - ・DXと業務改善活動の違いについて
 - ・進め方と体制
3. 勘違いされがちな改善策
 - ・業務のあり方の変化
 - ・勘違いされがちな改善案の例
4. これまでのやり方を疑う
 - ・普段の仕事からムダを見つける
 - ・ムダ作業を手放す
5. DXの進め方
 - ・業務改善・DX推進方法
 - ・4つのステップ
6. 業務を見える化する
 - ・ゲーティングの実施
 - ・業務棚卸表と気づき一覧表の作り方

【演習】クラウドを使ってアンケートに答えるように会場でゲーティングを実施します。
7. デジタル技術活用の思考法
 - ・デジタル化の基本「データを活用できる状態」とは
 - ・情報の集約・処理のデジタル化
8. かんたんデジタル体験
 - ・DXおすすめツールの紹介
 - ・事例紹介

【演習】業務改善で使えるAIプロンプトを紹介して参加者で体験します。